



編集後記・奥付

著者	岩間 剛一
雑誌名	和光経済
巻	50
号	3
ページ	70-70
発行年	2018-03
URL	http://id.nii.ac.jp/1073/00004560/

編集後記

『和光経済』第50巻第3号をお届けする。今回も多くの先生方にご寄稿いただいた第3号は、経済経営学部山田久教授の定年をお祝いする記念号となった。山田先生は、1987年に本学に着任し、シカゴ大学、デューク大学における貨幣と経済活動に係わる研究成果を生かし、マクロ経済学、ミクロ経済学、経済統計の講義を担当され、経済学の基礎科目において多大な功績をあげられ、30年を超える研究・教育の多忙な日々を送られてきた。山田先生が和光大学で過ごされた30年を振り返ると、熱狂的ともいえる地価と株価の高騰というバブルの発生から崩壊、その後の「失われた20年」を経て、21世紀に入ってから中国をはじめとした新興国の台頭、戦後最悪ともいわれるリーマン・ショックの勃発という激動の時代と重なる。その過程においては、ソビエト連邦をはじめとする社会主義諸国の崩壊と、米国の主流派経済学に立脚した市場経済、自由主義経済の歴史的な勝利という経済学におけるパラダイム・シフトも目の当たりに経験されている。そして、市場経済の勝利宣言の後に続く、グローバル化、デジタル化を契機とした世界経済の高度経済成長が実現すると同時に、コンピューターのアルゴリズムによる先物市場の乱高下、経済成長の恩恵を受けない貧富の格差の拡大、人件費の安価な移民の流入に伴う保護主義の台頭、反グローバリズムのうねりが世界を取り巻いている。グローバル化された経済において、経済成長と経済的格差の縮小の両立という解を経済学が求められている今、山田先生の豊富な学識と経験を、これからも和光大学経済経営学部の発展に生かしていただくことをお願いし、お祝いの言葉とさせていただきます。

(2018年3月 岩間剛一 記)

和光経済 第50巻第3号

2018年3月26日 印刷

2018年3月30日 発行

発行者 井出健二郎

制作 八千代出版

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-2-13

発行所 和光大学社会経済研究所

〒195-8585 東京都町田市金井町 2160